

2年 音楽「日本の伝統音楽（歌舞伎・文楽）」

題材〈歌舞伎・文楽に親しみ、その魅力を味わおう〉

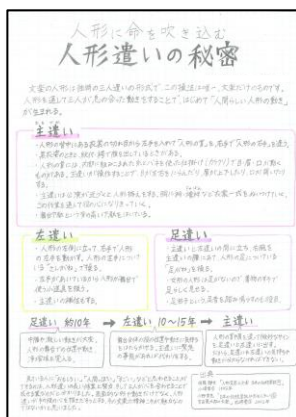
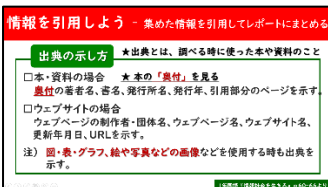
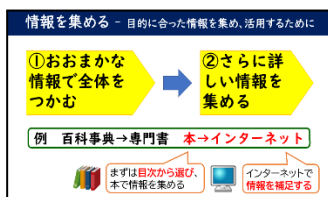
学習目標【①歌舞伎・文楽への関心を高める。②歌舞伎・文楽の成り立ちや特有の表現、音楽などについて理解する。】

日本の伝統音楽について関心を高めるために、歌舞伎または文楽について調べ学習を行った。歌舞伎と文楽の映像で事前学習を1時間、調べ学習を2時間、発表を1時間で行った。本時は「A L Tに日本の伝統音楽の特徴を伝えよう」という学習課題で調べ学習に取り組んだ。



図書館資料の活用

生徒は音楽室でブックトラックに載せた図書資料とタブレットを併用して調べ学習を行った。生徒は学校司書から「情報の集め方について」・「出典の明記について」の説明を受け、調べ学習を行った。



情報の集め方と出典の明記の仕方工夫した点

生徒はすぐにインターネットに飛びつき、膨大な情報量に振り回されることが多いので、本とインターネットの特性を知って使い分けるとよいことを伝えた。

①おおまかな情報で全体をつかむ→②さらに詳しい情報を集める。

まず、百科事典で概要を知り、専門書で詳細を得たり、本からおおまかな情報で全体をつかんだ後にインターネットでピンポイントの情報や最新の情報を補足するなど、調べる内容によってそれぞれの利点を活かして調べられる力がつくよう指導した。また、著作権や奥付の見方、出典の明記の仕方についての利用指導も併せて行った。

授業者より

普段なかなか目にすることがない伝統芸能だからこそ、見るだけに留まらずに、映像や本で詳しく知ることができて新鮮でした。最初、生徒たちは敬遠していましたが、初めて目にする芸能に、「思っていたよりも面白かった」「昔の言葉で分からないことも動きや音楽でなんとなく流れが分かった」と反応していました。

図書館より

- ・1つの資料を調べただけでレポートを作成する生徒がいました。情報の確かさを担保するために複数の資料に当たった方がよいということを伝える必要があったかもしれません。
- ・1年次から繰り返し指導してきたので、出典を明記することについては生徒は意識して書いていました。